

# MonotaRO REPORT 14

## 第14期 中間報告書

平成25年1月1日～平成25年6月30日

モノタロウ  
**MonotaRO**  
<http://www.monotaro.com>

### ホームページのご案内

事業者向けサイトのほか、消費者向けサイト、  
モバイルサイトなどをオープンしています。  
「IR情報」のページには投資家の皆様への情報を  
掲載しています。



### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	定時株主総会 12月31日 中間配当 6月30日 期末配当 12月31日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
公告方法	電子公告 当社ホームページURL <a href="http://www.monotaro.com/main/ir">http://www.monotaro.com/main/ir</a>

ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### ご 注 意

- 1 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### IR情報メール配信サービスのお知らせ

適時開示情報やその他リリース情報を  
メールで配信!

ご登録は以下の当社ホームページよりどうぞ!

<http://www.magicalir.net/3064/mail/index.php>



### トップインタビュー

## 14期中間事業概況のご報告 利便性のさらなる向上で新規顧客数増大

取扱いアイテム数300万点、  
自社在庫商品点数11万点突破

MonotaRO初!! PB商談会実施で  
500点超大量採用!!

「ねじ・ボルトカタログ Vol.1」創刊

### 連載 MonotaROが行く!

◎4月より営業開始! 韓国子会社“NAVI MRO”をご紹介します!

株式会社 MonotaRO

証券コード:3064

## 株主・投資家の皆様へ

株主・投資家の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は日本の間接資材業界のデファクトスタンダードとなり効率的な間接資材の購買プラットフォームを提供するため、日々努力を致しております。

引き続き当社成長の核である製造業・工事業・自動車整備業等のお客様への価値の高いサービスの提供に加え、中長期的な成長を見据えた海外展開や大企業連携など、新たな事業の拡大・展開にも積極的に挑戦してまいります。

株主・投資家の皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

代表執行役会長 瀬戸欣哉

価値あるサービスを多角的に展開し、成長率を高めてまいります。

代表執行役社長

鈴木雅哉

株主・投資家の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、第14期第2四半期(平成25年1月1日～平成25年6月30日)の事業概況を代表執行役社長 鈴木よりご報告させていただきます。

→第14期(2013年12月期)第2四半期の決算概況をご説明ください。

売上計画は未達ながらも、新規顧客獲得により増収増益を達成

昨年11月の政権交代以降、円安局面に急激に突入した形となりました。とはいえ、円安による海外に対する競争力の回復、海外販売の増大、GDP成長、デフレ脱却という流れには至っておらず、依然として国内生産は低調といえます。今のところ輸出関連企業にとっては円安のメリットは大きいと思われませんが、当社の中心顧客である製造業、工事業、自動車整備業に対しても現れていると断言するには尚早であり、むしろ、材料費や光熱費の上昇によるマイナス影響の方が見受けられます。

当社の努力不十分な部分もあり、上半期の計画は売上高においては未達となりましたが、取扱い商品と在庫商品の拡大に積極的に取り組み、取扱いアイテム数300万点、在庫商品点数11万点を突破。品揃えと納期などの利便性を向上させることで新規顧客獲得が好調に推移し、その結果、2013年12月期第2四半期累計期間における売上高は15,991百万円、営業利益は2,061百万円、四半期純利益は1,336百万円となり、増収増益を達成いたしました。

→増収増益を生み出した背景を教えてください。

認知度と利便性を高め、登録顧客数100万口座突破  
さらに、販管費比率の改善も実現

取扱い商品数を増やしていくことが、既に当社をご利用いただいているお客様への追加販売を生み出すだけでなく、YahooやGoogleなどの検索エンジンを通して新たなお客様との獲得につながってまいります。また、インターネットを通して間接資材を探すという行為がより一般的となり、その母数そのものが増加傾向にあると見られ、相乗効果が当社での購入につながっております。在庫商品点数は四半期ごとに約1万点のペースで増加しており、さらなる拡大のため、将来的に30万点の在庫能力を可能にする新物流センターも10月に竣工、来年運用開始予定です。

これらにより認知度と利便性を高め、111,345口座の新規顧客を獲得し、口座数は1,003,507口座となりました。

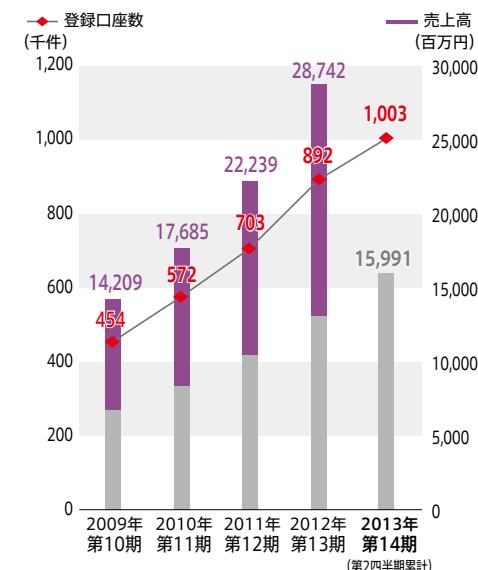
同時に、配送費、梱包等の見直しを含め業務効率の改善、コスト削減・抑制にも取り組んでまいりました。売上が増える以上に営業利益を増やすべく、少数精鋭の組織内でよりよいサービスの実現を目指しております。

→第14期通期の業績見通しをお聞かせください。

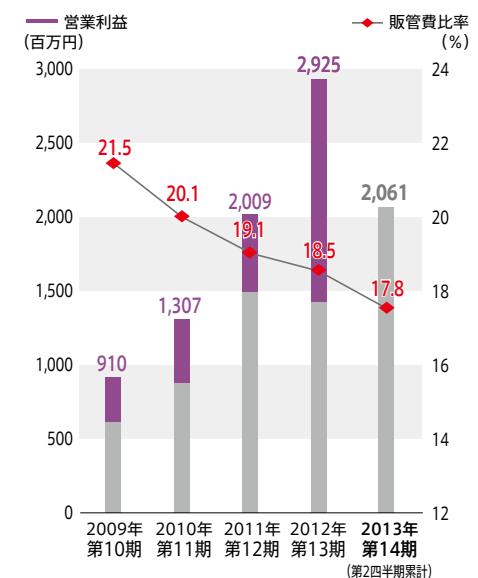
プロモーションをさらに増強しつつ、新たな計画を多角的に展開

実体経済へのプラス影響は徐々に出てくると予測されますが、その時期はまだ見えません。そのタイミングに関わらず、当社を知り商品を試していただくチャンスを増やしていくことは重要であり、より使いやすいwebサイトの改善・構築に加え、カタログ、Eメール、FAXといった媒体を通して販売プロモーションの強化を推進してまいります。カタログは

## ▶▶登録口座数と売上高



## ▶▶営業利益と販管費比率



前年以上の商品点数掲載とカテゴリを提供し、豊富なラインアップからご利用いただくことで、売上増加を目指しております。

購買管理システム連携に関しては、引き続き一層推進し、企業ユーザーにとってもより使い勝手のよい、これまでになかったサービスの提供を目指して取り組んでまいります(次ページに関連記事)。

海外展開につきまして、4月に営業を開始した韓国『NAVI MRO』は現在順調ですが、今後は新たな課題の発生が予測されます。例えば、韓国では日本とは異なる検索エンジンが主流であり、日本国内の検索エンジンに対するノウハウをそのまま活かすことはできません。ですが、課題を理解した上で解決していくことは、日々ノウハウを蓄積していくことです。さまざまな経験を積むことで、さらに新たな国での企業化調査の際に課題予測が立てられるようになり、次の国へ展開していくための力となります。下半期中には新たな国、エリアでのサービスをスタートできると考えております。

PB商品数増加は単に利益率を改善するだけでなく、お客様に対して適正な価格でMonotaROしか販売できない商品を増やしていくことであり、重要であると認識しております。国内外で実施してまいりましたOEMメーカーとの商談会については、今後も継続的に実施し、サプライチェーンを強化してまいります。

→株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

### 常に成長を続け、高い目標に向かって邁進する

株式分割は、より多くの株主の方により保有していただきやすい単価を設定することを目的としており、今後も継続的に可能なタイミングで実施してまいります。

また、当社では会社の利益に合わせて配当金の増配を行っております。引き続き当社の価値を高めていくことにより、マーケットにおける存在感を増大させ、株主の皆様へ還元していきたいと考えております。

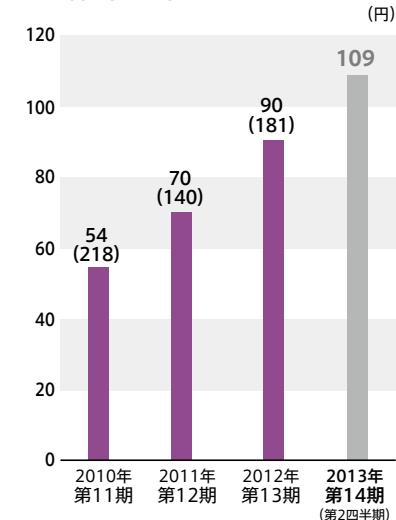
当社は常に高い成長目標を掲げており、現状には決して満足しておりません。自助努力により成長率を高め続け、下半期では目標実現に向かって社員全員で邁進する所存です。

株主をはじめステークホルダーの皆様には、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

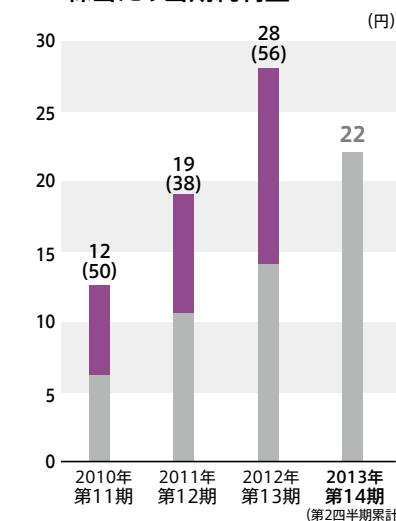
2011年第3四半期より、2011年8月に設立した「株式会社K-engine」を、また、2013年第1四半期より、2013年1月に設立した「NAVIMRO Co., Ltd.」を連結の範囲に含めております。なお、2013年1月に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。本資料内では過去の単独決算実績と12期以降の連結決算を並列して比較掲載しています。

※当社は、平成23年8月16日付および平成25年4月23日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。「1株当たり純資産」「1株当たり当期純利益」の13期以前の各期の数値は、当該株式分割を含む過去の株式分割に伴う影響等を加味した遡及修正値を使用しております。( )内の数値は遡及修正前の数値です。

### ▶▶ 1株当たり純資産※



### ▶▶ 1株当たり当期純利益※



## 購買管理システム連携の本格化について

### Q1 企業における間接資材購買管理の現状と、購買管理システム連携導入により得られるメリットについてお聞かせください。

企業におけるコスト削減、内部統制やコンプライアンスといった観点からの購買管理の必要性は年々高まっており、これまで手が付けにくかった間接資材の購買プロセス見直しへの注目が高まりつつあります。従来は、商品の種類が多く、個々の商品の購入頻度が低い間接資材は、見える化・管理に必要な購買商品のデータ化の負担が大きく、企業にとっては管理の必要性を感じながらも管理するにはコストがかさむというジレンマを解決できずにいました。そのような企業の課題に対して当社では、2010年より膨大な間接資材商品データベースをご利用いただけるよう企業が持ちの購買管理システムとのデータ連携や購買管理システムそのものご提供を進めています。現在300万点に達している積極的な取扱い商品点数の拡大が購買管理システムの

商品データベースとしての価値を一層増大しています。その結果、このようなシステム連携を通じた2012年の売上は対前年比で2倍に、2013年1月～6月期においても前年同期比で70%以上拡大、連携先は2013年6月末で100社を突破するなど、順調にご利用の拡大が進んでいます。当社を利用いただくことで必要なものが手軽に見つかるワンストップショッピングの利便性、スピーディかつ簡単な商品検索、迅速な配送体制など、他にはない利便性の高さを実感いただけると自負しております。そして、商品検索からモノが届くまで、間接資材の調達に関わるあらゆる手間や時間といったコスト削減に有効だということを実感していただけたと思います。

### Q2 システム管理連携におけるMonotaROの取り組みと、今後の購買管理システム導入拡大のための戦略をお聞かせください。

本年2月に専任の部署となる購買管理ソリューション室を新設しました。専任部署の設立により、これまで以上に迅速かつきめ細やかなソリューションの提供に尽力してまいります。

今後一層企業における購買管理システムのご利用を進めるには、更なる利便性の向上が必要です。現状、各企業の購買管理システムには複数のサプライヤーの商品データベースが連携されており、利用者にとってはこれら複数のデータベースを1つ1つ検索して目的の商品を探し当てるという手間が発生します。こうした手間が実際に発注作業を行う担当者に発生してしまいシステム自体の利用率が上がらないという問題につながります。このような問題を解消する為に当社は、当社商品データベースを入口に

他サプライヤーの商品も発注できるシステムのオープン化を計画しております。購買商品データベースを一元化することでお客様の手間を解消し、システムの利用率を高め、さらに当社の商品データベースをベースとしてご利用いただくことでトータルにおいては当社商品のご利用も増加するものと考えています。

代表執行役社長  
鈴木 雅哉



## 取扱いアイテム数300万点、自社在庫商品点数11万点を突破!!

当社は設立以来、「ワンストップショッピング」を実現する多岐にわたる商品の提供と、積極的な拡充を進めてまいりました。60万点からスタートした取扱いアイテム数は、2009年10月に100万点、2011年10月に150万点と年々増加の規模・スピードの拡大を続け、2012年10月の200万点から約4ヵ月で100万アイテム増というこれまで以上のスピードで、2013年2月に300万点を達成いたしました。また、2001年に100点からスタートした在庫商品の取扱いは11万点、当日出荷対象商品は在庫外商品約3万点を加えた合計14万点を突破いたしました。

さらに、最大約30万点の在庫を見込んだ、第3ディストリビューションセンターの建設を2013年秋完成予定で進めております。



建設中の  
第3ディストリビューションセンター  
(2013年秋完成予定)

## MonotaRO初の試み! PB商談会実施で500点超大量採用!!

高品質な商品を一般的な市場価格より安い価格帯で提供するPB商品。その拡充とサプライチェーンの強化を目指し、新たな取組みとして2012年夏から年末にかけて国内で取引先330社、上海にて取引先110社と商談会を実施した結果、500点を超えるPB商品を採用いたしました。今回の商談会では製造業から自動車整備業、工事業向け商品まで、幅広い分野において採用し、人気商品や幅広いジャンルのアイテムのPBを開発することができました。



## 「ねじ・ボルトカタログ Vol.1」を創刊! 国内最大級の35万点超に拡充!!

2012年11月、規格ねじ・ボルト関連の取扱いアイテム数を国内最大級の35万点超に拡充し、そのうち厳選商品1万5千点を掲載した「ねじ・ボルトカタログVol.1」を2013年3月に発行いたしました。形状・材質・表面処理の豊富なバリエーションの展開、少量パック商品の充実、先端加工品や規格外の長さにかットした特L品の取扱いなど、細かいニーズにも対応し、掲載商品の8割が3日以内出荷可能です。さらに、種類が膨大なねじやボルトをスピーディかつ簡単に検索できるよう新検索サービスを開始いたしました。



間接資材の流通を革新し、  
ものづくりの現場で満足いただける納期・価格・利便性を提供いたします。

国内外の卸業者・メーカー



### 300万超の品揃えと価格訴求力

- ◎直接輸入、卸業者からの仕入などによる、仕入ルートの最適化
- ◎価格訴求力のあるプライベートブランド商品の開発
- ◎ロングテール商品でお客様のニーズに対応



### お客様の購買を省力化

- ◎お客様のリピート率80%を実現するデータベースマーケティング
- ◎必要なものを手間なく探せる高度な検索性を備えたウェブサイト、ニーズに合わせたカタログなどの様々な販売メディア



### 低コストなオペレーション

- ◎自社開発ソフトにより標準化されたオペレーションで受注から商品発送までを低コストに運用



MonotaROはインターネット通信販売で工場などの現場で使用される間接資材を販売しています。作業工具、切削工具、研磨材などの工業用資材、梱包・清掃・安全用品などの消耗品、自動車整備業、建設・工事業向けの商品など、ものづくりの現場で必要とされる約300万点にのぼる商品を、全国100万を超える事業者のお客様にご利用いただいています。

全国100万超の事業者のお客様

製造業 自動車整備業 建設・工事業



### サービス向上への迅速な体制

◎カスタマーサポート・物流センターを自社運営することによる、サービス向上への迅速なフィードバック体制

▶ 連結貸借対照表(要旨)

科目	前期(第13期)	当中間期(第14期)
	平成24年12月31日現在	平成25年6月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	10,109,678	<b>10,736,816</b>
現金及び預金	2,925,592	<b>3,270,628</b>
売掛金	2,868,409	<b>3,091,524</b>
たな卸資産	3,147,947	<b>3,185,534</b>
その他	1,195,082	<b>1,212,399</b>
貸倒引当金	△27,352	<b>△23,271</b>
固定資産	1,156,055	<b>1,285,543</b>
有形固定資産	171,324	<b>181,195</b>
無形固定資産	762,953	<b>828,091</b>
投資その他の資産	221,778	<b>276,256</b>
差入保証金	136,168	<b>138,313</b>
その他	101,908	<b>155,112</b>
貸倒引当金	△16,298	<b>△17,169</b>
資産合計	11,265,734	<b>12,022,359</b>

(単位：千円)

科目	前期(第13期)	当中間期(第14期)
	平成24年12月31日現在	平成25年6月30日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	5,580,039	<b>5,173,192</b>
買掛金	2,178,842	<b>2,152,625</b>
短期借入金	1,300,000	<b>1,300,000</b>
未払金	966,409	<b>495,047</b>
その他	1,134,787	<b>1,225,519</b>
固定負債	96,866	<b>147,366</b>
負債合計	5,676,906	<b>5,320,559</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	5,489,617	<b>6,645,127</b>
資本金	1,771,616	<b>1,810,554</b>
資本剰余金	576,154	<b>615,092</b>
利益剰余金	3,267,044	<b>4,362,545</b>
自己株式	△125,197	<b>△143,063</b>
その他の包括利益累計額	0	<b>△6,532</b>
新株予約権	68,077	<b>63,205</b>
少数株主持分	31,132	<b>0</b>
純資産合計	5,588,827	<b>6,701,800</b>
負債純資産合計	11,265,734	<b>12,022,359</b>

▶ 連結損益計算書(要旨)

科目	前中間期(第13期)	当中間期(第14期)
	自 24年 1月 1日 至 24年 6月30日	自 25年 1月 1日 至 25年 6月30日
売上高	13,677,176	<b>15,991,165</b>
売上原価	9,846,555	<b>11,075,900</b>
売上総利益	3,830,621	<b>4,915,264</b>
販売費及び一般管理費	2,406,896	<b>2,853,635</b>
営業利益	1,423,724	<b>2,061,628</b>
営業外収益	24,737	<b>23,247</b>
営業外費用	8,853	<b>10,017</b>
経常利益	1,439,608	<b>2,074,858</b>
特別利益	0	<b>138,404</b>
特別損失	30	<b>6,499</b>
税引前四半期純利益	1,439,577	<b>2,206,762</b>
法人税、住民税及び事業税	624,801	<b>930,225</b>
法人税等調整額	△16,341	<b>△60,305</b>
少数株主損益調整前当期純利益	831,117	<b>1,336,843</b>
少数株主利益	2,635	<b>0</b>
四半期純利益	828,482	<b>1,336,843</b>

(単位：千円)

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前中間期(第13期)	当中間期(第14期)
	自 24年 1月 1日 至 24年 6月30日	自 25年 1月 1日 至 25年 6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,940	<b>728,390</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,750	<b>△379,482</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,531	<b>△197,918</b>
現金及び現金同等物の増減額	178,658	<b>145,035</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,519,895	<b>2,825,592</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,698,553	<b>2,970,628</b>

(単位：千円)

※2013年第1四半期より、2013年1月に設立した「NAVIMRO Co., Ltd.」を連結の範囲に含めております。なお、2013年1月に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。

▶ 会社概要 (2013年6月30日現在)

社名	株式会社 MonotaRO (英文名 MonotaRO Co.,Ltd.)
本社	兵庫県尼崎市西向島町231番地の2 GLP尼崎3F
物流センター	第1: 兵庫県尼崎市西向島町231番地の2 GLP尼崎3F 第2: 宮城県多賀城市栄2-1-1 プロロジスパーク多賀城3F・4F
設立	2000年10月
資本金	18億1,055万円
従業員数	552名
主な事業内容	インターネットを利用した工場用間接資材の販売

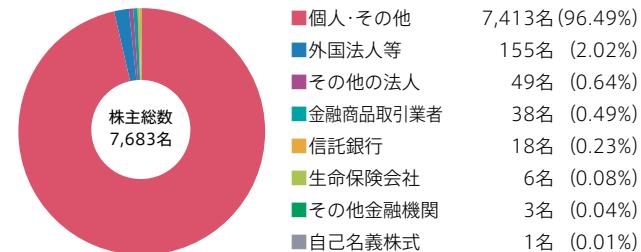
▶ 役員 (2013年8月31日現在)

取締役兼代表執行役会長	瀬戸 欣哉
取締役兼代表執行役社長	鈴木 雅哉
取締役	宮島 正敬
取締役	山形 康郎
取締役	喜多村 晴雄
取締役	岸田 雅裕 Ronald L.Jadin (ロナルド・エル・ジャディン)
執行役員 副社長	室 大二郎
執行役員 副社長	金 澤 祐 悟
執行役員	田 中 秀 和
執行役員	柴 垣 香 平

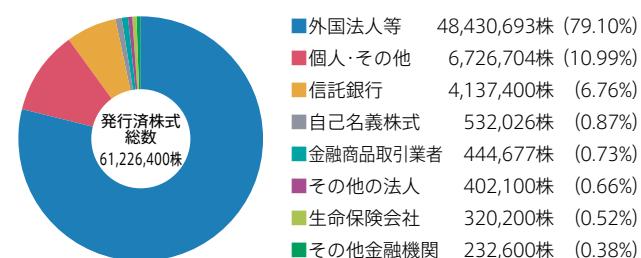
▶ 株式の状況 (2013年6月30日現在)

発行可能株式総数	84,480,000株
発行済株式の総数	61,226,400株
株主数	7,683名

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



▶ 大株主 (2013年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
グレンジャーインターナショナルインク	28,224,000	46.09%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,487,921	7.33%
グレンジャー ジャパン インク	3,040,000	4.96%
バンクオブニューヨーク・ジェシーエムクライアント アカウントジェイビー・アルティエイエスジー・エフイー・エイシー	1,637,641	2.67%
ザチエスマンハットンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	1,167,312	1.90%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,114,600	1.82%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,062,600	1.73%
瀬戸 欣哉	720,000	1.17%
MSIP CLIENT SECURITIES	658,800	1.07%
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー 505041	620,000	1.01%



# モノタロウ MonotaRO が行く!

MonotaROは積極的な海外展開をはかっています。  
今回は4月より営業を開始している、韓国ソウル市の子会社をご紹介します!!

## 韓国子会社

# NAVI MRO が始動!



2013年1月に設立した当社初の海外子会社が4月にサイトをオープン、営業を開始いたしました。

新会社では、MonotaROが培ったネット広告、データベースマイニング等ダイレクトマーケティングのノウハウや

MonotaROのプライベートブランド商品を活用しながら、韓国間接資材市場への浸透を進めていきます。

韓国においても特に中小事業所における間接資材調達の効率化のニーズは高く、従業員一同、

MonotaROが日本で進めている間接資材調達の革新を韓国でも起こそうと希望とやる気に満ちています。

NAVI MROの活躍にご期待ください。



**NAVI MRO** MRO(間接資材)商品をナビゲーションする、という意味とともに「ナビ」は韓国語でネコを意味し、幅広い商品点数を意味するロングテール(長い尻尾)と合わせて「賢いロングテールのネコ」をキャラクターにしています。

▲『NAVI MRO』サイト画面 <http://www.navimro.com/>

ここでモノタロウ侍の活躍がご覧いただけます。 <http://www.monotaro.com/topic/monotaro/>